

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
<http://www.city.ikeda.osaka.jp/>

けだ
No.173

いけだ市議会だより

令和3年（2021年）2月1日



令和3年 池田市成人の集い

12月定例会	2
意見書	2
11月臨時会	2
百条委員会の開催概要について	3
一般質問	4
委員会レポート	10
議決	11
議案	12
日誌	12
結果	12

池田市議会 録画映像配信を行っています

市議会では議会改革の一環として、令和2年3月定例会より録画映像配信を開始しております。

本号 P.4～P.9に掲載の一般質問については、紙面の都合上、一部しか掲載できませんので、詳細については、外部サイト「YouTube」において配信しております録画映像を御覧ください。

池田市議会 映像



12

月定例会

12月定例会は、12月2日に開会し、市長から議案8件と人事案件1件が提出され、本会議及び委員会で審議を行い、いずれも可決・同意しました。

また、任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行うとともに、9月定例会で閉会中の常任委員会に審査付託した令和元年度決算8件についても認定しました。

12月22日・23日の継続会では、市民の声を広く市政に反映させるため、14人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

また、市長から提出された追加議案1件を審議し、原案どおり可決し、12月定例会を閉会しました。

新型コロナウイルス感染症対策に係る追加予算を可決

新型コロナウイルスワクチンの接種開始に向けて、必要な体制を整備し、ワクチンの供給が可能となった場合に速やかに接種を開始する事業や、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、介護サービス、障がい福祉サービス及び障がい児通所支援サービス等を継続して提供する市内の事業所に対し、支援給付金を給付する事業に係る一般会計補正予算案が追加で提出

されました。

新型コロナウイルスワクチン接種事業は、接種の実施体制及び相談体制の確保、周知・広報等を行うものです。接種対象者は今後、国が示す優先順位として想定される医療従事者等及び65歳以上の高齢者となる見込みです。

審議の中では、補正予算として計上した経緯や広報から接種までの具体的なスケジュールのほか、給付金の支援対象事業所数や受付期間及び給付時期などの質疑が交わされましたが、結局、全会一致で可決しました。

一般質問に対する市長の対応について議長から発言

一般質問は、議員が市長などの理事者に対し、行政事務全般に関する質問や報告・説明を求めるとともに政策提案なども行う場です。

今回の一般質問において、質問者に対して市長より「一般質問の場では双方の認識に違いがあるため、議論が噛み合わない。担当課と話をするように」とする答弁がありました。

これは市政に対して議会との認識を合わせることや、市民の代表としてまちづくりへの提案を行う一般質問の意義を軽視したものです。

さらに、地域分権制度の改正を念頭に置いた地域コミュニティ推進協議会会長会議へ臨むに当たり、事前に議長・副議長に対して会議の項目の説明を行ったことをもって、議会と地域分権制度改正の合意が図られたとする強引な解釈を述べるなど、独善的な振る舞いがありました。このことに対して議長より富田市長に対して強く抗議する旨の発言がありました。

意見書

12月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○大阪府における新型コロナウイルス感染症防止策について抜本的に強化・拡充を求める意見書

11月臨時会

11月26日に臨時会を開会し、議員から提出された決議案1件及び市長から提出された議案8件の審議を行いました。

まず、議員から提出された「富田裕樹市長の不適切な庁舎使用等の調査に関する決議について」は、昨年10月の富田市長の不適切な庁舎使用等に係る一連の報道を受け、議会で慎重に協議してきた結果、「看過できない事案」と判断し、今回の提案に至ったものです。

審議の中では、「調査事項の対象範囲が広がり過ぎている」「市長自らがマスコミの前で説明責任を果たし、謝罪されたのに、特別委員会を設置してまで調査する必要があるのか」との反対意見が出されました。

一方、「市庁舎へのサウナ持込みや畳ベッドを設置し寝泊まりした」という報道内容については、常識的に考えて理解できない」「9月議会での一般質問に対し、虚偽答弁があったことは大きな問題である」「パワハラ疑惑が出ることで自体が重大な問題であり、しっかりとした調査が必要」「今回の市長の報道が、全国ネットで流れたことにより、池田市のイメージダウン、公私混同と世間のひんしゅく、市民の怒りを買った」「何が本当のことであるのかについて、事実確認を公開の場で調査し、市民の皆様に伝えることが議会の務めである」などの意見が出され、結局賛成多数で可決しました。

次に、市長から令和2年10月の人事院勧告に伴う、議員、特別職及び特定任期付職員並びに一般職員の期末手当の引下げに係る関係条例の制定案と、それに伴う補正予算案が提案されました。

審議の中では、10年ぶりのマイナス勧告となった要因や職員のモチベーションへの影響、職員団体からの要望などについて質疑が交わされましたが、結局、賛成多数で可決しました。

献血ご協力のお礼

昨年の11月14日と12月6日に、本市議会が主催となり、献血推進活動を行いました。

2日間にわたりたくさんの方々に足を運んでいただき、150名の方が献血の受付を、31名の方に骨髄バンクのドナー登録をしていただきました。

献血とドナー登録にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

議会の予定

3月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいずれも午前10時からの予定です。（定員あり）

3月1日(月)	本	議
3月8日(月)	本	議
3月9日(火)	本	議
3月11日(木)	委	員
3月15日(月)	委	員
3月16日(火)	委	員
3月18日(木)	委	員
3月29日(月)	本	議

※傍聴される場合は、マスクの着用及び入場時の消毒液による手洗いの徹底にご協力いただきますよう、お願いいたします。

富田裕樹市長の不適切な庁舎使用等に関する調査特別委員会（百条委員会）の開催概要について

令和2年11月26日の臨時会において設置された本委員会においては、①不適切な庁舎使用並びに公金等の私的流用に関する事、②本会議及び常任委員会等における虚偽答弁に関する事、③本市職員等に対するパワハラ疑惑に関する事について、調査を行っております。

◆これまでの開催概要

開催日	案 件
【第1回】 令和2年12月3日(木)	・ 地方自治法第100条に基づく調査権について ・ 委員会運営要領について ・ 今後の調査の進め方について
【第2回】 令和2年12月24日(木)	・ 次回の委員会で出頭を求める証人について ・ 証人尋問事項の協議について ・ 証人出頭要求について
【第3回】 令和3年1月13日(水)	・ 証人喚問 ・ 次回の委員会で出頭を求める証人について ・ 証人尋問事項の協議について ・ 証人出頭要求について
【第4回】 令和3年1月20日(水)	・ 証人喚問 ・ 次回の委員会で出頭を求める証人について ・ 証人尋問事項の協議について ・ 証人出頭要求について

※開催予定については、ホームページをご覧ください。

◆傍聴について

本委員会は、市民の皆様に関心が非常に高く、多数の傍聴希望者の来庁が予想されるため、抽選による入場とさせていただきます。

また、時間の都合上、抽選を行うための整理券の配布は、委員会開催日当日の午前8時30分から9時15分までの間となりますので、ご了承ください。詳細については、ホームページをご覧ください。





一般質問は、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行います。
今議会は14人の議員が市政全般について、市長及び関係部署の考えをいただきました。
主な内容は次のとおりです。

(一般質問の内容については、質問議員各自の原稿によって編集しています。)

問 コロナ禍での歳出予算編成の考え方は

(大阪維新の会池田)

コロナ感染症の影響を踏まえた、新年度歳出予算編成の考え方は。

答 近年において最も困難な状況にあると認識

本市の財政調整基金残高は本年度末には予算ベースで約20億円にまで減少する見込み。新年度予算編成は、投資的経費を除いた一般財源ベースで、本年度当初予算から5%削減とするシーリングを基本に、限られた財源の「選択と集中」により、真に必要なサービスを提供し続け、持続可能な市政運営の実現を目指す。

問 事業見直し1次、2次の成果と課題について

(新生クラブ)

厳しい財政状況の中で、令和元年度の1次及び令和2年度の2次の取組内容及び課題について。

答 中長期的な視野と行政評価シートで見直した

1次は職員が行政全般の多面的な精査によって、120の改善提案から5年間で1億800万円の効果額を算出。2次においてはゼロベースから500事業を精査し、1億7千万円の効果額があった。施設整備等の可能な事業に予算を反映し、次年度には3次の見直しを予定。

問 小規模事業者支援給付延長と2度目の給付を

(日本共産党)

市内小規模事業者に対する給付は申請期間が短く、周知が行き届かないうちに終わることのないよう申請期間の延長を求める。また、厳しい営業を強いられている事業者、安心してこの冬を越せるよう、再度の支援を実施してはどうか。

答 困っている事業者等に持続的支援の方向検討

申請受付直後は多くの申請があったが、12月以降徐々に減少しており、申請期間の延長は必要性が低いと認識している。

「コロナ対策として、感染対策とコロナ禍で生活困難に陥りそうな方々や事業者等に第一次、第二次と持続的に支援していく方向で各担当課と話しているところである。

問 本部長が対策本部会議を欠席した理由を問う

(自民同友会)

池田市新型コロナウイルス感染症対策本部設置要綱中、第4条には、「対策本部に本部会議を置き、必要に応じ本部長(富田市長)が招集する。本部会議は、本部長(富

田市長)が主宰し、第2条の所掌事務について協議する。」「この主宰とは、「人々の上に立つて全体をまとめること」とある。

11月20日に第26回池田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開かれた。この時期は、市内施設や本庁において感染者が確認された始めた時期でもあり、大変重要な会議であったと認識している。

でありながら、本部長(富田市長)が出席しなかったと聞き及んでいる。先にも述べたが、本部会議は本部長(富田市長)が招集するとあり、当然ながら、本部長(富田市長)の公務スケジュールとは重ならないものと認識しているが、なぜ、本部長(富田市長)が対策本部会議を欠席したのか、問う。

答 欠席理由について明確な答弁はなかった

11月20日の第26回池田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議は、感染拡大に伴い、大阪府がイエローステージのフェーズ2に警戒レベルを高めたため、開催する運びになった。

その他、「市職員感染に伴う対応の教訓」や「3連休における体制」について、情報共有を行った。

一般質問議員

一般質問を行った議員は、次のとおりです。

- 1 藤 本 昌 宏 (公 明 党)
- 2 下 窄 明 (新 生 ク ラ ブ)
- 3 瀧 澤 智 子 (大阪維新の会池田)
- 4 坂 上 昭 栄 (新 生 ク ラ ブ)
- 5 西 垣 智 (自 民 同 友 会)
- 6 守 屋 大 道 (青 風 会)
- 7 三 宅 正 起 (大阪維新の会池田)
- 8 安 黒 善 雄 (大阪維新の会池田)
- 9 小 林 吉 三 (日 本 共 産 党)
- 10 山 元 建 (日 本 共 産 党)
- 11 前 田 敏 (新 生 ク ラ ブ)
- 12 藤 原 美知子 (日 本 共 産 党)
- 13 浜 地 慎一郎 (自 民 同 友 会)
- 14 渡 邊 千 芳 (青 風 会)

(※質問順)

問 行政の既存の仕事を 市民と行政の連携で

(青風会)

明治中期まで、今行政が行っている仕事の大半を地域住民が担っていた。富国強兵・高度経済成長の中、教育・福祉・土木からごみ処理まで行政が担うようになった。

下水道などインフラ整備が整い、国民の生活が多様化していく中、中央集権から地方分権・地域分権と移行していく、市においても地域分権・公益活動に力を入れてきた。しかし、制度の課題ばかりが議論され、自己決定・自己責任を負う住民自治が深化していない。

新たな行政需要の拡大に伴う行政の肥大化の部分が地域分権の大きな課題だと考える。制度で足踏みするのはなく、今ある行政の仕事

を地域や公益活動団体が担えるようにしないか。例えば介護の見守り、子育て支援、水道メーターの検針、公園の清掃などを担えるシステムを考えていただきたい。

答 制度にこだわらず 市民と行政の協働を推進

肥大化した行政サービスの担い手を地域力で賄う方向性は福祉の現場における国の方向性と合致しており、特に介護や子育ての分野においては大きな可能性がある。

問 自治会・町内会の 現況と加入促進策は

(自民同友会)

最もミニマムなコミュニティは自治会・町内会であり、近隣の状況を把握している。しかしながら全国的に加入率や加入世帯の減少等が課題となっている。

本市においても高齢化の上昇傾向により退会者が増加しているが、現況と加入促進策は。

答 加入率向上には課題が多く 遅々として進まず

コミュニティ意識の希薄化、生活スタイルの多様化などにより、課題が多いが、今後は公益活動の促進施策の中で、中間支援組織を介した自治会への支援や相談窓口の設置等を検討する。

問 地域分権制度に関する 要望について

(新生クラブ)

直近の地域コミュニティ会長会議では市長がやりたいことのイメージを一方的に説明し、コミュニティの意見を取り入れる体制ではないと感じる。地域から具体的にどのような要望が上がっているのか。

答 制度や事業の維持を 望む意見などと認識

地域ごとに考え方の違いなどはあるが、「予算提案額をなくさないでほしい」「提案額がなくなる」ということによって実施できなくなる事業は市が責任をもって代わりに実施すべき「地域コミュニティを支える新たな人材の確保や育成について具体的な方法を示してほしい」などの要望を頂いている。



問 地域コミュニティとの
合意形成について
(新生クラブ)

9月議会で地域分権制度の議論をした際に、私自身も地域の声を聞く必要があると考え、半分以上の地域コミュニティを回ってきた。そこでは新制度の移行に向けた市長の説明に対して合意はしておらず、出ている要望も新制度への期待ではないと認識している。地域コミュニティとの合意を取りながら、新制度への移行の進めを進めるべきではないか。

答 一般質問の場で
議論しても進まない

議員と私の認識が違つ。まず担当課に行き、具体的な内容を聞いてからの議論をお勧めする。地域分権制度の中身を理解するのは難しく、細部にわたって把握した上で議論でなければ時間が足りない。



問 監視社会に道開く
スーパーシティを進めるな
(日本共産党)

医療、教育、交通その他サービスの集中的なデジタル化を進めるスーパーシティは、わずかな便利さと引換えに、通信系大企業に莫大な個人情報を集積させ、個人情報漏洩が危惧される。またAI（人工知能）を介して国民を人格的に支配する超監視社会であるSociety5.0は、スーパーシティに道を開くものである。

デジタル技術を活用した社会づくりは、個人情報の保護を徹底し、住民参加のもとでの民主的議論が必要。性急に行つべきではない。

答 スーパーシティの
公募参加は見送る

スーパーシティ区域指定は、国の応募要件が厳しくなり、参加は難しくなった。



問 デジタル庁発足で
市も新たな技術職員採用を
(大阪維新の会池田)

国のデジタル庁発足で、本市もコロナ禍の中で副業が許された民間企業からの人材募集は可能か。

答 今後の課題で
必要性については検討する

現在の技術職員の採用方法については、昨年度より全国各地にあるテストセンターを利用した試験の導入や、専門分野の有資格者なら受験可能とするなど、幅広く人材採用を実施している。

問 事業者の
事業継続計画（BCP）について
(新生クラブ)

事業者は池田市地域防災計画の中で、自助、共助、公助の理念のもと、災害時に重要業務を継続するためのBCPを策定。企業防災を推進し、地域の防災活動等に協力参画に努めるとなっているが、見解を問う。

答 事業継続力強化支援計画の
認定を受けた

池田商工会議所と行政が共同で事業者のBCPの策定支援のために、令和2年6月に大阪府に「事

業継続力強化支援計画に係る認定申請書」を提出し、8月に認定を受けた。令和2年10月から令和7年9月末までを事業継続力強化事業の実施期間に設定し、事業者はBCP策定に焦点を絞つたセミナーやワークショップを実施する。また、支援した事業者のBCP取組状況に応じ、フォローアップの充実を行っていく。

問 出資法人への行政の関わりと
点検評価は
(新生クラブ)

経営参加の在り方、責任の明確化の取組について、いけだサンシー株の場合の舵取りは。

答 適正管理のもと
株主の思いで解散になった

出資企業は、公共性や公益性を有した事業を民間企業と同様に機動的、効率的に行つことが可能で、市として補助金や委託事業の目的達成、出資金の適正管理を判断するための調査権も行使できることになっている。

いけだサンシー株については、既に委員会等で説明をしてきているが、様々な協議において、まちづくりを進めるための財源や市が期待する中長期的なビジョン、事業推進の役割が望めないとする意見

の中において、株主の想いが事業検証という形となり、まちづくりの事業ができないとして、その使命が終わったものである。

問 コロナ禍におけるいじめ・不登校について
(大阪維新の会池田)

今年度の不登校の人数及びいじめの認知件数について問う。

答 家庭と連携しきめ細やかな支援を行う

10月末時点で欠席が30日を超える不登校児童・生徒数は、小学校30名、中学校58名。いじめの認知件数は昨年度の同時期より減少。

問 学校園における健康報告について負担軽減を
(大阪維新の会池田)

現在、小学生の保護者は毎朝、児童の健康状態を記入し、担任に提出している。これは保護者、教員に大きな負担となっており、現行のシステム等を用いて、負担軽減につながる取組ができないか。

答 今後の対応を検討する

システムの構築やアプリによる連絡システムの導入など、新たな手段も含め、検討する。

問 コロナ陽性者等に対する学習機会の保障は
(青風会)

コロナ感染や濃厚接触者のため出席停止となった当該児童・生徒たちの授業の遅れや学習機会の保障について、どのように対応しているのか。また、どのように工夫し、学校行事を実施してきたのか。

答 プリント等を届け個別で補習を行っている

出席停止中は問題プリントや授業のまとめを家庭に届け、学校に登校できるようになってから個別で補習を行っている。今後はタブレットの活用について研究を推進し、学力保障に取り組んでいく。運動会や学習発表会の学校行事に関しては、府のガイドラインを踏まえ、可能な限り実施してきた。演技構成や発表内容を変え、保護者の協力のもと、観覧人数の制限や入替えを行うなど感染拡大防止に努めてきた。



問 コロナ感染者に関する人権教育について
(青風会)

コロナに感染もしくは濃厚接触者になった児童・生徒・教職員に対し、当該人物を特定する言動が見受けられる。風評被害や差別は許されないことであるが、人権教育はどのように行っているのか。

答 正しい知識をもとに指導や啓発が必要と認識

学校園においては、資料等を活用した授業及び全校集会の実施を通し、誰にでも感染リスクがあることや、憶測や噂が偏見や差別を助長すること等について指導。また、学校たより等でも保護者や地域に発信し、啓発に努めている。

問 一人一台タブレット配布による学びの変容は
(大阪維新の会池田)

学校教育が劇的に進化し、学びが深化・転換する、学習者用デジタル教科書の導入について、問う。

答 一人一人の理解度に応じた学びが可能

タブレット端末の導入により、一人一人の理解度に応じた学びが可能となり、全員の考えを共有す

ることで質の高い協働学習にもつながる。デジタル教科書については、算数の指導者用教科書を導入済み。学習者用教科書については国の動向を注視し、情報収集・研究を進める。

問 児童・生徒にオンラインで国際交流の授業を
(公明党)

姉妹都市のローストン市や友好都市の蘇州市との、児童・生徒同士のタブレット端末を使用した交流授業の実施ができないか。

答 現地校と調整を踏まえ実施に向けて検討

交流はコミュニケーションを図る有効な手段と認識。GIGAスクール事業も推進中であり、姉妹都市等の子どもたちとのオンライン交流の実施に向けて検討する。



問 さらなる少人数学級へ
要望を強めるべき
(日本共産党)

答 国が35人学級に踏み出し、30人学級への動きもある。市教委として、さらなる少人数学級へ向けて要望を強めるべきではないか。国の改正をどう市に生かすのか。

答 府の加配について
要望していく必要がある

さらなる少人数学級の推進は、教室数と教員数に課題。現在35人学級は国が小学1年、府が小学2年を行い、小学3年から6年までは、市単費と府の加配を活用し実施。国の拡充で、府が小学2年から学年を引き上げるよう要望する。

問 学校ホームページについて
(大阪維新の会池田)

新たに導入した市立学校のホームページの効果や実際に使用している現場の声について、問う。

答 新システム導入により
迅速な情報共有が可能

新システムの導入により、日々の学習の様子を随時保護者へ配信。また、保護者への緊急の文書通知等も即座に掲示が可能となり、

緊急連絡にも効果的に活用。加えて、教職員は業務負担が軽減。

問 中学生スポーツ団体の
創設に向けて
(自民同友会)

昨今、プロスポーツ選手の活躍やメディアへの露出の機会が増加したことにより、スポーツに取り組む若者が増えている。これまで本市では小学生を対象としたスポーツ少年団が活動を行っているが、中学生を対象とした団体が存在しない。教職員の働き方改革が進む中、国では部活動の在り方を検討している。社会教育団体として中学生スポーツ団体を創設できないか。

答 スポーツ活動の実態把握が
必要と認識

国は休日の部活動の段階的な地域移行等を提言。今後、様々な種目の中学生スポーツ活動が連携し、団体として組織される場合には、その公益性を踏まえ、活動に対し、可能な範囲で支援する。

問 青少年野外活動センターの
再開を求める
(日本共産党)

コロナ禍のもと、三密を回避できるキャンプをはじめとした野外

活動が、子どもたちの協調性や責任感など人格形成を図る場として、また、昆虫など小動物との出会いを通じて知的好奇心を育む場として改めて見直されている。

山、川、林に囲まれ自然環境抜群の池田市立青少年野外活動センター（兵庫県猪名川町）の活用を求める声が広がっている。市民の声を取り入れながら再開すべき。

答 活用について研究

設備の改修など解決すべき問題は多いが、活用については研究していく。

問 新型コロナウイルス対策の
強化拡充を
(日本共産党)

感染拡大は池田でも11月に過去最高となり、12月もその水準を上回る勢いで広がっている。医療機関や高齢者・障がい者施設、保育園、学校で働く人たちを対象とした定期的な社会検査を実施し、無症状者の段階で感染拡大を抑える対策が必要ではないか。

答 社会的検査は陽性者への
フォローが困難

本市としては検査を行い、陽性であれば疫学調査を実施、陽性者

への治療、濃厚接触者の特定及び検査実施と一連の流れが重要であると考えており、現体制で陽性者へのフォローを確約できない社会的検査は困難である。

問 高齢者見守り活動の
安否確認について
(大阪維新の会池田)

実施されたアンケートについて、どのように対応し、解決に結びつけていくのか。

答 それぞれのケースに応じて
対応する

高齢・福祉総務課から直接連絡をしたり、庁内の関係課や地域包括支援センター、民生委員、地区福祉委員などと連携し解決を図る。



問 認知症高齢者の徘徊
対応策の拡充を

(公明党)

本市では、徘徊対策として、GPS端末による捜索を行う事業があるが、認知症高齢者が、外出時に端末を持ち出す工夫が必要である。そこで例えば、GPS端末を靴底に内蔵した靴による捜索システムなどの導入をすべきでは。

答 認知症高齢者の
対応策に努める

今後、認知症高齢者が増加傾向であるため、地域で安心して暮らせるための取組を進める。

問 保育料の段階区分を
細分化して負担軽減を

(公明党)

0～2歳児の市民税課税世帯の保育料は、市民税所得割額に応じ9段階区分となっている。これをさらに細分化することにより、子育て世代の負担軽減を図るべきでは。

答 保育料減額分の
財源確保が必要

さらなる段階区分の細分化は、保育料の減額が予想されるため、財政状況を鑑み慎重に検討する。

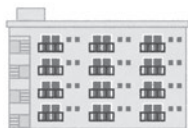
問 市営住宅の倍率9倍
五月ヶ丘住宅の存続を

(日本共産党)

高齢化や格差・貧困及び新型コロナウイルスの広がりで、低廉住宅の需要が増し、市営住宅の役割は高まっている。市営住宅の応募倍率は9倍で、削減計画は見直し拡充を。コロナ対応の住宅確保給付金の状況を問う。廃止予定の五月ヶ丘住宅の入居者は、市都合で移転した経緯があり、高齢者も多く移転は困難。直近の井口堂住宅廃止で市営住宅が減少しており、五月ヶ丘住宅はURとの契約延長で存続を。

答 転居困難の声はある
円滑移転へ入居者に対応

公営住宅の対象世帯数推計から府営住宅を含めた目標戸数を設定。今後新型コロナウイルスの影響も踏まえ見直しの検討を行う。住宅確保給付金の利用は83世帯。五月ヶ丘住宅の継続は財政的負担が大きく困難。部分借上げもURとの協議により難しく、円滑な移転に努める。



問 都市公園のごみ箱設置状況と
今後の方向性は

(新生クラブ)

快適に利用できる場として、ごみ箱の撤去が必要と考えるが、見解を問う。

答 都市公園で生じたごみは
持ち帰りを原則

都市公園には89か所のごみ箱を設置し、指定管理者が週2回のごみ回収を行っている。また、大規模公園や利用者の多い公園については利便性向上のためにごみ箱を設置している。家庭ごみの持込みやマナーの悪い利用者による不法投棄が増えるごみ箱を撤去している。

問 池田駅高架下の商店と
駅前放置自転車対策は

(大阪維新の会池田)

本市の池田駅前中心市街地の将来ビジョンについて、問う。

答 耐震工事後の駅前再整備は
手法を模索中

耐震工事は各店舗と阪急間で協議。放置自転車対策は、シルバー人材活用とシェアサイクルを検討。にぎわい創出、再整備を模索中。

問 簡易の宅配ボックスを
配置できないか

(大阪維新の会池田)

宅配便の再配達が社会問題になっている。コロナ禍で、非対面式の配送ニーズも高まっている。

簡易の宅配ボックス等を配置することは、地球に優しい取組と住民満足度向上につながると考えるが、見解を問う。

答 実施自治体の状況を
確認し検討

簡易の宅配ボックスの配置は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からも有益と考えるが、慎重に検討する。



委員会レポート



総務委員会

池田地域交流センターの概要とオープンまでのスケジュールは

〈一般会計補正予算〉

問 池田地域交流センター整備事業として、限度額6億2300万円とする債務負担行為は、本年度中に工事業者の決定や契約の締結を行う必要があるため、設定することであるが、新たに整備する池田地域交流センターの概要及びオープンまでのスケジュールについて問う。

集会室などのある4階建ての建物
令和4年6月のオープンを予定

12月定例会では、市長から提出された議案のうち8件の議案を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

12月22日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも原案どおり可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

また、オープンまでのスケジュールについては、本補正予算議決後、本年度中に、入札や、落札業者との契約の締結などを行い、令和3

年4月から工事を開始し、令和4年3月の工事竣工後、備品の搬入などを行い、令和4年6月のオープンを予定している。

文教病院委員会

教育職員の仕事への

モチベーション低下への見解は

〈幼稚園型認定こども園の教育職員の給与に
関する条例の一部改正〉

問 今回の提案は、令和3年4月から幼稚園型認定こども園に勤務する教育職員の期末手当の支給割合の引下げを行うものである。

こども園化に伴い、これまでの幼稚園教諭としての業務に加え、さらに保育士としての業務が加わり、職責が増すにもかかわらず、昇格しなければ40歳過ぎで昇給が停止するような教育職員の給料表を採用し、さらに、今回、期末手当の支給割合まで引き下げることになれば、教育職員の仕事へのモチベーションの低下につながるのではないかと危惧するが、見解を問う。

現場のモチベーションが

下がらないよう十分な支援を行う

答 本市では、これまでから国の

人事院勧告を準拠し、職員団体との交渉を経て給与改定を行ってきた。

現在の市立幼稚園に勤務する教育職員の給与体系については、大阪府の教育職給料表を準用しており、府も今回の勧告と同じ支給率の引下げを行っており、本市と同様の措置を講じている上、職員団体との交渉においても十分に理解が得られたものと考えている。

また、幼稚園の教育職員との話し合いの中で、こども園化については一定の理解が得られており、令和3年4月からの実施に向けて、これまで培った幼稚園教育をベースに、どのような保育や教育が提供できるのかについて、前向きに検討している。

教育委員会としては現場のモチベーションが下がらないように、今後も十分な支援を行っていきたいと考えている。

厚生委員会

石橋西団地敷地内に地域子育て支援
拠点を開設するに至った経緯は

〈一般会計補正予算〉

問 今回、地域子育て支援拠点事業として、限度額8000万円とする

債務負担行為補正を計上している。
これは、大阪府住宅供給公社が石橋西団地の建て替えに併せて敷地内に整備する施設を本市が借り上げ、令和3年6月の地域子育て支援拠点の開設に向けて、年度内に運営事業者の選定などを行うため設定することであるが、当該団地の敷地内に設置するに至った経緯について問う。

大阪府住宅供給公社からの提案を受け、整備することになった

【問】 平成29年2月に大阪府住宅供給公社から本市に対して、地域のまちづくりとコミュニティの発展に寄与するとともに、子育て世帯が魅力を感じる団地にするため、石橋西団地の建て替えに併せて、当該団地の敷地内に別棟の子育て支援施設を整備するので、その運営を行ってもらえないかとの提案を受けたことが始まりである。

もともと北豊島地域に子育て支援拠点がないことが懸案事項であった本市としても、施設の建設費用を負担することなく整備することができると非常にありがたい提案であったため、公社との協議を重ねてきた結果、今回の提案に至った。

土木消防委員会

消防業務全般の広域化に対する見解は

《豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市消防通信指令事務協議会の設置に関する協議について》

【問】 今回の提案は、現在、本市と豊中市の2市で実施している消防指令業務の共同運用を令和6年4月から吹田市、箕面市及び摂津市の3市を加えた5市での共同運用に向けて協議会を設置するものである。

5市による共同運用は、救急需要の増加に対する対応や災害状況などの情報の一元管理により、各種災害時において通報の受信と同時に応援出場が可能となるなど、市民サービスの向上に加え、通信指令システムの構築費や維持管理費の低減及び人員配置の効率化など、行財政面においても大きな効果が期待できるとのことだが、さらなる効果を上げるためには、北摂の全自治体が必要があるのではないか。

また、将来的には消防指令業務に限らず消防業務全般の広域化について検討する必要もあるのではないかと考えるが、見解を問う。

業務全般の広域化については困難 特殊自動車の共同運用から検討

【答】 指摘のとおり、消防指令業務の共同運用については、広域化の効果は大きく、北摂全体での共同運用が望ましいと考えており、引き続き北摂の全自治体での共同運用に向けて協議を進めていきたいと考えている。

また、消防組織法の規定により、

消防機関の設置、管理運営は自治体ごとに行う義務があるほか、各自治体の消防組織の規模の違いなどから、業務全般の広域化については困難であるが、国の基本指針の中には、はしご車などの特殊自動車の共同運用についての提言もあるため、まずは、特殊自動車の共同運用から検討していきたいと考えている。

議 会 日 誌

11月					10月																											
12月2日	市議会定例会	11月30日	各派代表者会議 議会運営委員会	臨時会	11月26日	議会運営委員会	11月24日	各派代表者会議 議会運営委員会	11月17日	各派代表者会議 特別委員会	11月11日	市議会だより編集 総務委員会	11月5日	各派代表者会議	11月4日	文教病院委員会	10月30日	各派代表者会議 厚生委員会	10月28日	各派代表者会議	10月26日	総務委員会	10月23日	各派代表者会議	10月22日	土木消防委員会	10月20日	文教病院委員会	10月12日	厚生委員会	10月9日	土木消防委員会
1月					12月																											
1月20日	百条委員会	1月18日	市議会だより編集 特別委員会	1月13日	百条委員会	1月12日	市議会だより編集 特別委員会	12月24日	百条委員会	12月23日	市議会定例会	12月22日	各派代表者会議 議会運営委員会	12月11日	総務委員会	12月10日	文教病院委員会	12月9日	各派代表者会議 厚生委員会	12月8日	土木消防委員会	12月7日	市議会だより編集 特別委員会	12月3日	百条委員会							

○市長提出議案及び議決の結果（11月臨時会・12月定例会）

議 案 名	議決の結果
人事院勧告に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(賛 成 多 数)
令和２年度池田市病院事業会計補正予算（第１号）	原案可決(賛 成 多 数)
令和２年度池田市水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決(賛 成 多 数)
令和２年度池田市公共下水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決(賛 成 多 数)
令和２年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	原案可決(賛 成 多 数)
令和２年度池田市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決(賛 成 多 数)
令和２年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決(賛 成 多 数)
令和２年度池田市一般会計補正予算（第10号）	原案可決(賛 成 多 数)
令和元年度池田市病院事業会計決算の認定について	認 定(賛 成 多 数)
令和元年度池田市水道事業会計決算の認定について	認 定(全員異議なし)
令和元年度池田市公共下水道事業会計決算の認定について	認 定(全員異議なし)
令和元年度池田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定(賛 成 多 数)
令和元年度池田市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定(全員異議なし)
令和元年度池田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定(全員異議なし)
令和元年度池田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定(賛 成 多 数)
令和元年度池田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定(賛 成 多 数)
池田市立幼稚園型認定こども園の教育職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決(賛 成 多 数)
池田市督促手数料等条例等の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市立歴史民俗資料館条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市火災予防条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市消防通信指令事務協議会の設置に関する協議について	原案可決(全員異議なし)
池田市教育委員会委員の任命について	同 意(全員異議なし)
令和２年度池田市公共下水道事業会計補正予算（第２号）	原案可決(全員異議なし)
令和２年度池田市介護保険事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決(全員異議なし)
令和２年度池田市一般会計補正予算（第11号）	原案可決(全員異議なし)
令和２年度池田市一般会計補正予算（第12号）	原案可決(全員異議なし)

○議会提出議案及び議決の結果（12月定例会）

議 案 名	議決の結果
池田市選挙管理委員会委員の選挙について	終 結
池田市選挙管理委員会委員補充員の選挙について	終 結

やまばと

市民の皆様には、日頃から市議会の活動に対し、御理解と御協力、並びに貴重な御意見を賜り、誠にありがとうございます。

11月臨時会で「富田裕樹市長の不適切な庁舎使用等の調査に関する決議について」を賛成多数で可決しました。

特別委員会である百条委員会において、関係資料等の請求や証人等への尋問を行い、事実関係の究明に向け調査中です。

また、コロナ禍での血液不足解消の一助となればと、11月14日に池田駅前、12月6日には石橋阪大前駅にて、昨年度に引き続き、市議会が主催となり、献血推進活動を全議員で行いました。

今後も市議会の審議内容を分かりやすくお伝えできるように努めますので、「いけだ市議会だより」を御愛読いただきますよう、よろしく願いたします。

市議会だより編集特別委員会

委員長 藤本 昌宏
副委員長 小 林 吉三
委員 守 屋 大 道
委員 瀧 澤 智 子
委員 小 林 義 典
委員 坂 上 昭 栄